

2017年度 社会力の検証（全学の学年推移）

－ マイステップのリエゾンポートフォリオ「社会人基礎力判定」のデータを活用した検証 －

FD 委員会、IR センター

本学は、『行学一如』の精神と『自利・利他円満』の理念を基に、「人間力、社会力をもつ人材」を育成している。他方、社会人基礎力は「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」である。社会人基礎力は、社会力の一部であり、社会人の前段階にある大学生で培うことが望まれている社会力である。

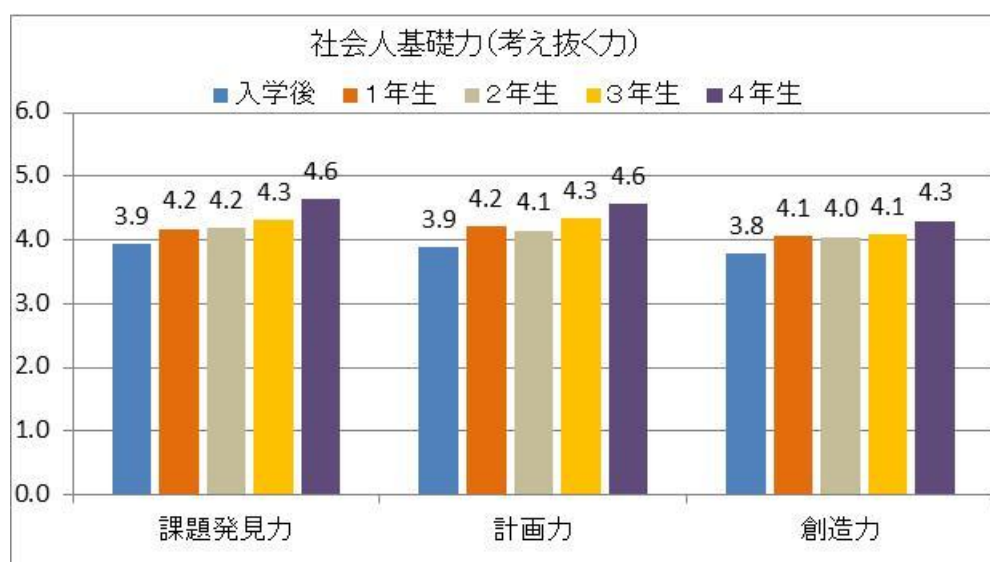
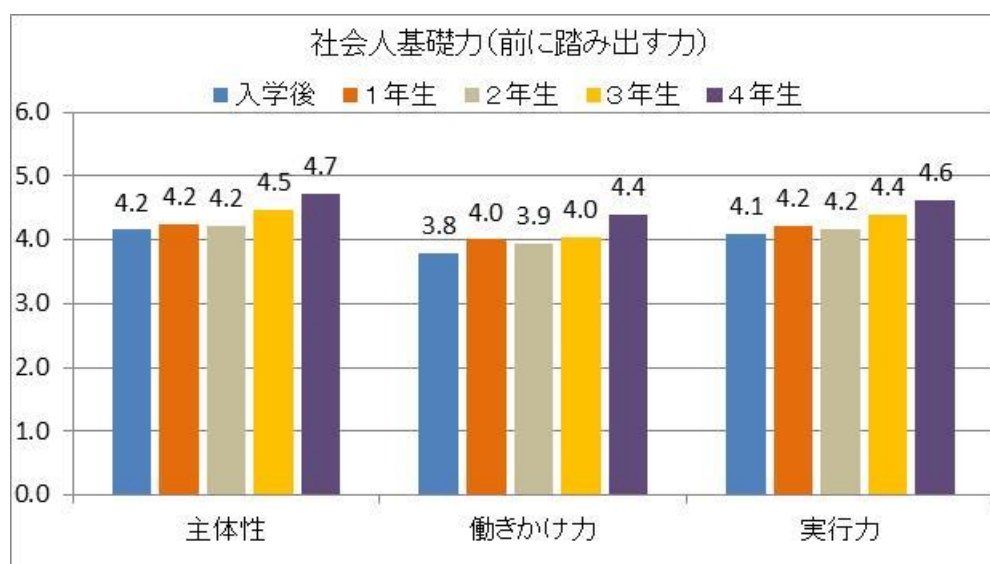
1. 学年ごとの回答者数

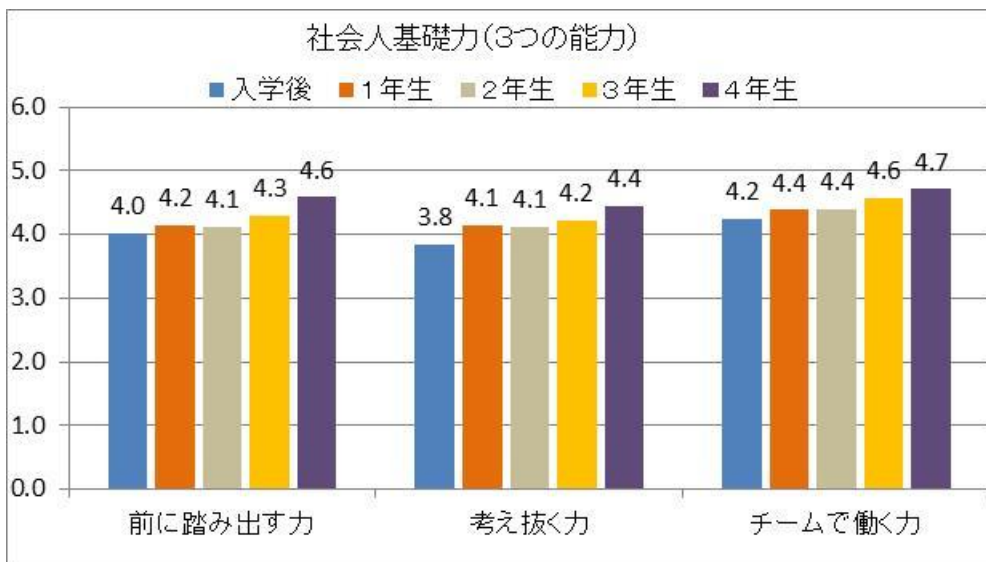
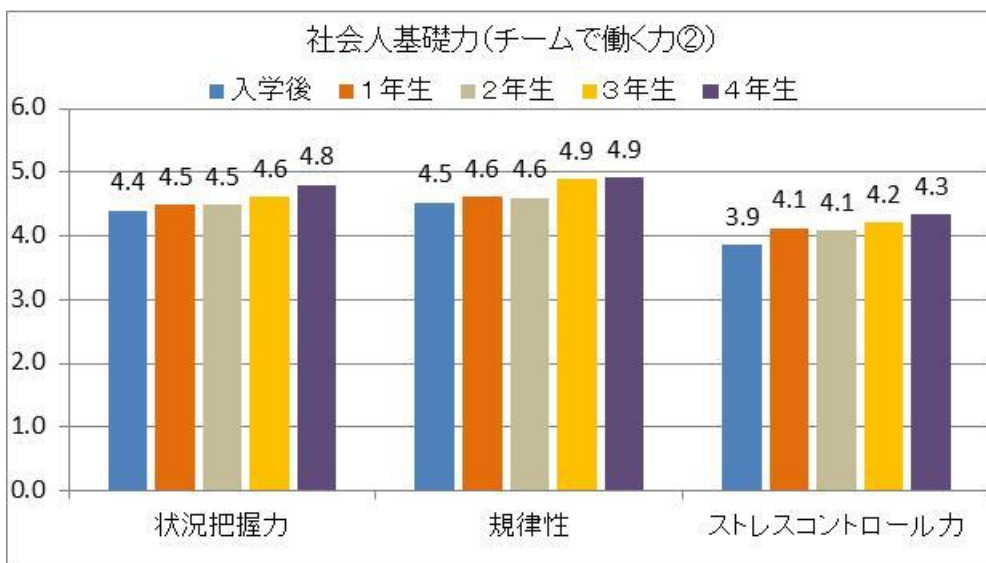
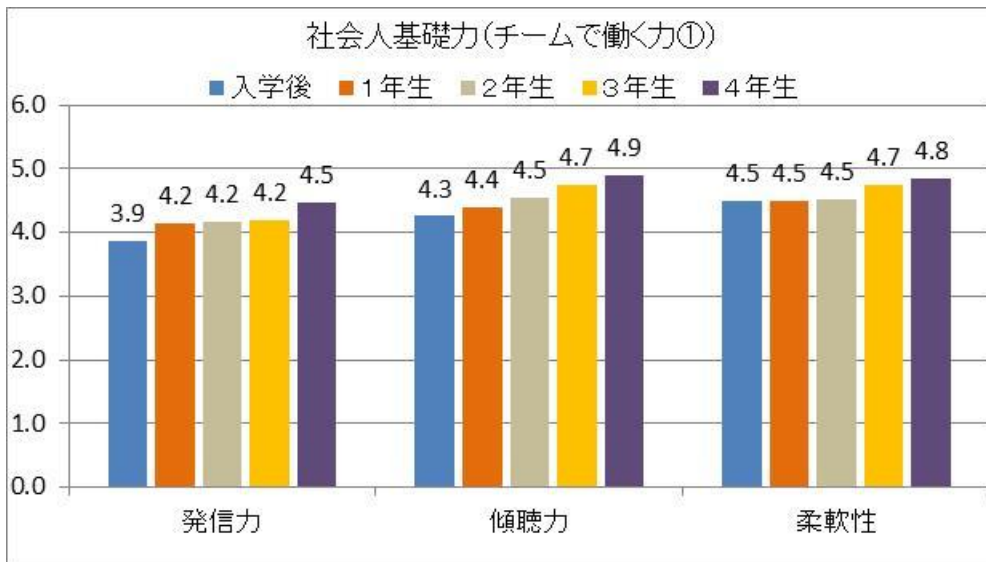
学年	人数	%
入学後	902	59.7
1年生	853	65.5
2年生	213	14.4
3年生	182	12.8
4年生	289	21.8

注1) %は、学年の全学生数における割合 注2) 入学後は6月末までのデータ。1年生～4年生は11月後半以降のデータ。

2. 社会人基礎力の学年ごとの推移

※選択肢は、1.全くそう思わない～6.非常にそう思うの6件法。





【まとめ】

いずれの項目も、学年が上がるごとに高くなっていることが示され、本学の教育により社会力が高まることが示された。ただ、その中でも、次のような課題が見いだされた。

- ①働きかける力が、2年生～3年生で横ばいとなっており、他の項目に比べて4年生でも低かった。
- ②創造力が、2年生～3年生で横ばいとなっており、他の項目に比べて4年生でも低かった。
- ③ストレスコントロールが微増ではあるものの、他項目に比べると低調である。

【参考】 社会人基礎力

「社会人基礎力」とは



▶ 平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授)にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

<3つの能力 / 12の能力要素>

